

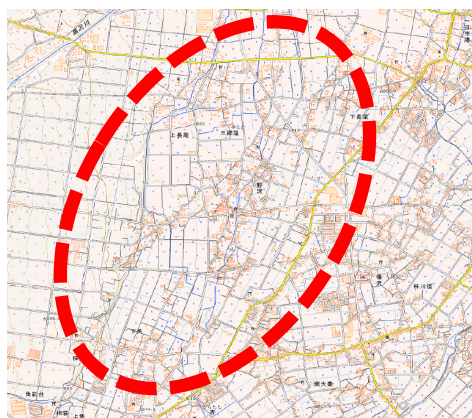
長尾・野沢の屋敷林と田園集落

先人たちが作りあげてきた生産環境と蚕種生産がもたらした豊かな実り

三郷地域の南部に位置する長尾地区には市内最大級の屋敷林（松岡家）があり、隣接する野沢地区は文化庁の調査報告書※にも取り上げられており、緑に囲まれた集落がみられます。これらは、古代から長い期間をかけて先人たちが築き上げてきた土地からの実りがもたらした証ですが、その背景には土地条件や環境、農業生産も深く関わっています。屋敷のまわりの緑の利用が減った今、その物語も含めて継承していく活動が重要です。



下長尾の屋敷林の景観



協定団体：屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

項目	内容
環境の土台 田園	<ul style="list-style-type: none"> ○扇状地の扇中央部で礫も多い荒れた土地ではあるが、梓川などの縦堰に沿って生まれてきた集落・生産の場 ○種をつくる“桑”～原種に近いクワ（標高600～800m）の適地
物語 構成要素	<ul style="list-style-type: none"> ○荘園（住吉荘）が存在した地域 <ul style="list-style-type: none"> ・縦堰沿いに集落と耕作環境が発達 ・古くから実りの豊かな土地と集落が存在 ○人名のついた堰の多さ <ul style="list-style-type: none"> ・江戸以降、先人たちの苦勞により横堰が発達 ○蚕種生産とその潤いの名残 <ul style="list-style-type: none"> ・明治期～昭和初期までの大きな糧、収入源 ・富を蓄えた人々が大きな家屋を建立または移築（野沢に移築された本棟造15棟・温銀行の金庫だった蔵等） ・三味線を使ったお囃子が残る（野沢地区） ○豊かな実りにあわせて発達してきた屋敷林・本棟造 <ul style="list-style-type: none"> ・植栽：南からの季節風を防ぎ暮らしの糧も生んだ緑 実のなる木、用材も植え込んで「使える森」 蚕種生産では温度管理にも間接的に貢献 ・本棟造：土地の恵みから得られた豊かさや権力の証
産業の関 係・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○養蚕から稲作・果樹栽培への変化 ○屋敷林の役割の変化と後継者不足
市民活動等 の内容	<ul style="list-style-type: none"> ○屋敷林見学会 ○落ち葉拾いボランティア 等



緑豊かな集落景観



春の堰の流れ



温銀行の金庫だった蔵



屋敷林サポーターの落ち葉拾い



野沢の屋敷林の景観

※ 中央日本塩の道地域連携整備計画調査文化調査報告書別冊 歴史的町並み・集落等の分布調査編（2011年）